



利用者カードの有効期間について

利用者カードには有効期間があるのをご存じでしょうか？市内に在住の方は、登録から10年間有効です。特にカードの番号が「0・1・2」で始まる方は、期限が近い可能性があります。期限切れの方は更新手続きをしますので、身分証(健康保険証、免許証など)を持参の上、カウンターまでお尋ねください。

かつば落語会

昨年好評だった古典落語を今年も開催します。子どもから大人まで多数の参加をお待ちしています。

日時 3月8日(日)午後2時～3時30分

場所 市中央図書館視聴覚室(2階)

内容 古典落語、大喜利

出演 筑波大学落語研究会の皆さん

定員 70人

入場料 無料

問い合わせ リーブルの会(市中央図書館内) ☎871・1400

3月まで駐車場の植栽工事のためご迷惑をお掛けしています。皆様のご理解とご協力をお願いします。

今月の行事予定 <場所：市中央図書館>

- ◆映画上映会◆ 2月15日(日)午後2時
『ぼくのともだちドゥーマ(洋画・吹替版)』
- ◆牛久おもちゃ病院◆ 2月15日(日)午前10時～正午
*おはなしよんで…毎週水曜日午後2時
*おはなし会…毎週土曜日午後2時
*おはなしとんとん…毎月第2日曜日午前11時
*うさちゃんきいて…毎月第3金曜日午前10時30分

今月の休館日

全館休館日…2月9日(月)・23日(月)
エスカードのみ休館日…2月18日(水)

聖小川芋銭

再び芋銭を考える④

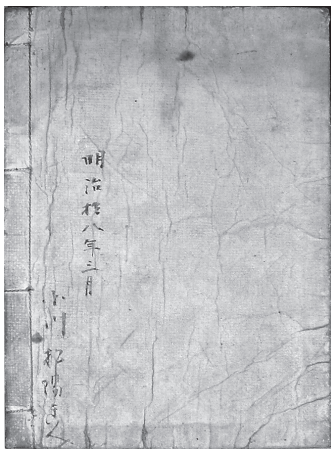
前回は、号「芋銭」のことについて記しましたが、今回は、芋銭の若いころの号について考えてみます。小川家に残されている800冊以上の芋銭の愛蔵書を調べたところ、「松丘」「松陽」「松陽迂人」「常南逸民」「常陽寒土」「画狂生小川痴茂」「画痴僊」などの号の類を芋銭が使用していたことが分かりました。「松丘」以外は、今まで全く知られていなかった

「明治十八年三月」には、芋銭はまだ東京の「彰技堂」という所で、洋画の勉強をしていました。それにしても、絵を描くことを職業とする前に、このような号を使用していたことには、本当に驚かされます。

ところで、「松陽」や「松丘」というように、芋銭は自分の号になぜ「松」の字を用いたのでしょうか。

今は枯れてしまいました。芋銭の家の近くには、「カッパ松」というカッパの伝説を伴った松の大きな木がありました。号に使われた「松」は、芋銭が幼いころからなれ親しんだこの「カッパ松」が基になっています。

小川家の芋銭のスケッチ帖には、この松のスケッチが数点収められています。その中でも、沼の方から松を見上げたスケッチは見事で、カッパ松周辺の景が、生き生きと描かれています。



↑芋銭愛蔵書に書かれた号

「松陽」(小川耒太郎氏蔵)

小川芋銭研究センター

北畠健